

団体名：特産品開発グループ黒っこマザーズ

代表者：西村 萬里子

所在地：兵庫県西脇市黒田庄町

〔ポイント〕

平成10年に旧黒田庄町の消費者協会から“町の活性化とPRを目的に特産品づくりに協力してほしい”という呼びかけをきっかけに、料理好きのママ(12人・現在21人)が集まって結成され、平成11年に活動がスタートした。

地元の旬の野菜を活用し、特産品を開発することを基本に日々研究を重ねる一方で、地域の福祉施設や各種イベントをはじめ、近隣地区や市内の個人向けなどに対する弁当の宅配を実施している。

さらには、地域の伝統的な食文化を現代の食生活に取り入れるアレンジの方法などを次世代へ伝えていこうという使命感のもとに、加工体験を通じた活発な食育活動が展開されている。

活動の充実が図られている中で、近年、近隣地区等での知名度が高まり地域の活性化とPRにも大きく貢献している。

【活動内容】

活動の理念(メインテーマ、目標)

地域の産物を利用し、消費者の立場に立った真心のこもった特色あるこだわりの特産品づくりを目指すとともに、地域の活性化とイメージアップを図ることを目的としている。

1. 特産品の製造・販売活動をはじめ、地元農産物をふんだんに使った弁当づくり、JR黒田庄駅舎前での直売朝市への参加や市等の各種イベントへの参加など。
2. 味噌づくり体験教室(親子・初心者対象)の開催、地域の中学生を対象とした「トライやる・ウィーク」()における生徒の受け入れ、子育てグループとの交流会を通じた食育活動の展開など。

()児童生徒に対する生きる力の育成を図るものとして、兵庫県が全国に先駆けて平成10年度から県下公立中学校2年生を対象に実施した取組。学校・家庭・地域社会の密接な連携のもとに、生徒一人ひとりの興味・関心に応じ、地域社会や自然の中で1週間の社会体験活動が展開されている。

3. 特産品の開発をはじめ、販売活動、体験教室、研修会等、地産地消による文化の伝承や食育活動、食の安全・安心に対する積極的な活動等の展開により、「いずみ会いきいき料理コンクール」において、特産品の黒豆や牛肉を使ったお祝い用の「ふるさとご膳」が兵庫県保健所会長賞を、また、開発した特産品が「ひょうご農と暮らしの研究発表会」で知事賞を受賞した。